

平成 31 年 2 月 20 日

レポーター: 石黒

1. 日 時 平成 31 年 2 月 16 日
2. 訪 問 地 森林公園の梅と福寿草
3. 目 的

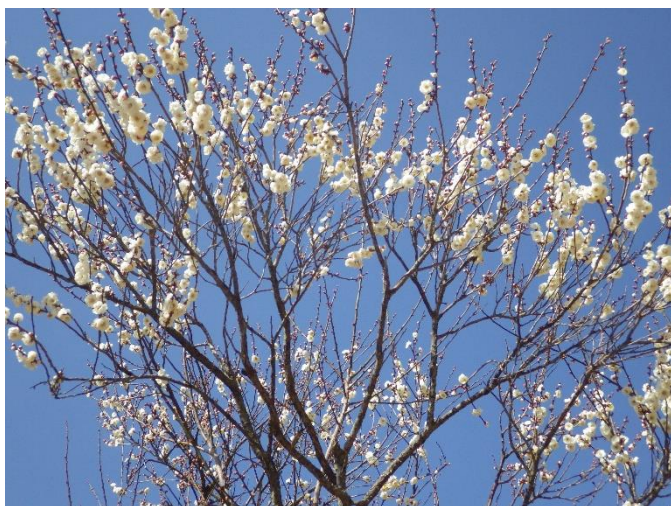
最近の朝晩は寒い日が続いており、家を出るのが億劫になるような毎日です。そんな折に庭の木々を見ると小さな蕾が少しではあるが大きくなってきているように感じられてきました。今日は朝から太陽が顔をのぞかせ暖かくなることが予想されたので、春を求めて森林公園の梅と福寿草が咲いているのではないかと出かけました。公園に入って歩いていると足元には水仙・福寿草が咲いていて、顔を上げると梅の花が出迎えてくれ、春の入り口に立ったと感じました。



森林公園の南口から入ると、フクロウと噴水が出迎えてくれた



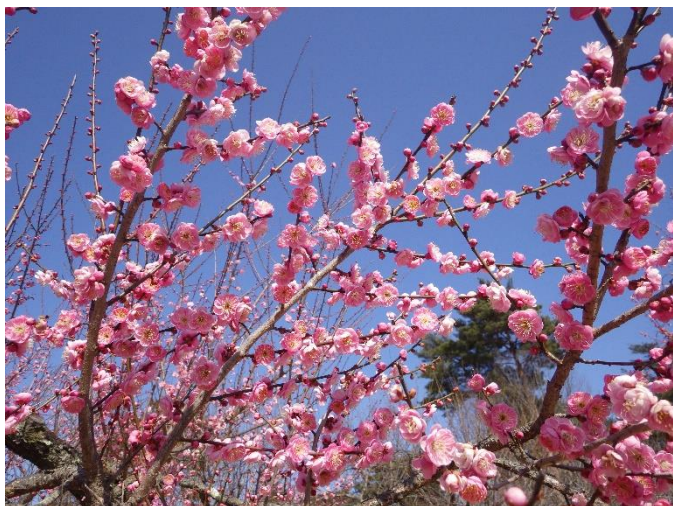
水仙



早咲きの白梅がほぼ満開



白梅アップ



ピンク色の梅、公園の中でも目だって綺麗に咲いていた



紅梅アップ



福寿草はキンポウゲ科の多年草、1月1日の誕生花



花言葉は「永久の幸福」



蠟梅の名は半透明でにぶいツヤのある花びらが蠟細工のようであり、(ろうげつ:旧暦 12 月)に咲くことからいう。晩冬の季語。



梅林の一番奥にあるピンク色の梅の木で、盆栽みたいに綺麗な樹形をしている。

★春はすぐそばまで来ています、気がいたらレポートして下さい。お待ちしております。